



みよた

みんなと仲よくする子ども
よく考え、ともに学ぶ子ども
たくましい子ども

<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710038>

文責 齋藤 和代

(ホームページからも「御代田小学校だより」がご覧いただけます。)

通学路の安全確保に向けた合同点検

連休明けの17日(火)朝8時30分より、通学路の安全確保に向けた合同点検を実施しました。参加者は、市道路維持課、郡山警察署交通課、市教育委員会、田村行政センターの方々と、守山中学校長、同PTA会長、御代田小学校長、同PTA会長、横田さんや遠藤さんなど御代田地区交通安全協会の方々、区長さん方をはじめとする地域の方々など、多数の方々に参加していただき、あらかじめ報告していた危険箇所を点検しました。(中平方面の分岐点付近、須賀川に抜ける分岐点、御代田新屋敷交差点、県道安積田村線の押しボタンのある交差点の4か所)

その後、守山中学校で、話し合いを持ちました。以下その内容を公開いたします。

【郡山警察署】

今年度何か所か市内で合同点検に参加しているが、今まで見てきた中では1・2番に(安全面での環境が)悪い。中平方面の道路は片側だけでも歩道が付けられないか検討する必要がある。



【市道路維持課】

中平方面の道路は、学校から冬季の路面凍結について説明していただいた。早急に対策を講じたい。坂道の途中に融雪剤を入れる箱などを設置したい。側溝には、なるべく早く蓋をしたい。

【田村行政センター】

本庁へは行政センターを通じて、防犯灯の増設や融雪剤のなど要望を出してほしい。

【田村町自治会】

せっかく合同点検を実施しているのだから、改善箇所はさっそく改善してほしい。集まるだけでは意味がない。まず実行してほしい。U字溝の蓋は、明日にでもつけてほしい。地区に数か所もある狭い踏切や道路も改善してほしい。各学校に小さな除雪機を設置してはもらえないか。

【交通安全協会】

自転車通学の中学生在が地域では多い。雨や雪の日は心配である。歩道がない所が多い。引き続き安全教育を続けていきたい。

【市教育委員会】

市全域での合同点検を実施して、地域と連携して安全に向けて積極的に対応していく。数々の設備が整うだけではだめで、子どもたちの安全に対する意識も高めていく必要がある。

PTA東北大会の講演会から②

桜の聖母短期大学の西内みなみ先生の講演から印象に残ったところです。

【すぐ「無理」という子どもたち】

今の子どもたちを見ていると夢や希望はあっても自己肯定感が低いと感じます。

子どもの主体性を大事にする家庭での関わり方が大事だと思います。

【主体性を大切にする家庭での関わり方】

- ①家庭は安全基地（信頼関係が成り立つ）であること
- ②他児と比べず、個人内での成長を評価してほめること
- ③「生き字引」のように定義を与えない。
- ④判決を下さない→提案を
- ⑤子ども自身が考え、判断する余地を



【絵本の読み聞かせで】

絵本を読んであげることもありますが、どちらがいいのでしょうか。

気持ちを共有する ⇔ 強制する

子どもの感想を待つ ⇔ 発問する

「そうだね、〇〇だね」⇔「ほら、ママが言ったとおりでしょう。」

もうおわかりですね。読み聞かせによって、子どもたちの語彙力は格段に増えますが、やり方によっては指示待ちになり、語彙力は逆に下がります。

【創造的想像力が大事】

想像の素材は経験。児童期にどれだけ豊かな経験をしたかが大事。

【子どもの学習習慣は生活習慣】

発達に応じた会話は、子どもの語彙力を高め、自己肯定感を高めます。食事の時間などに話をしましょう。家の人と学校のできごとを話すことと、学力テストの正答率は有為的な関係が裏付けられています。メディア漬け・ゲーム漬けなどはダメです。

【来たるべき思春期に向けて】

思春期は、体と心がアンバランスになります。だからこそ、大切にしてくれる大人の存在が大事になります。親が子どもの安全基地になりましょう。

来週の予定

月 日	曜日	行 事
9月23日	月	秋分の日
24日	火	スクールカウンセラーさん来校
25日	水	交通安全教室
26日	木	集金日
27日	金	弁当の日 学習旅行（1・2年、3年、6年） 郷土を学ぶ体験学習（4年）
28日	土	週休日
29日	日	週休日